

基本方針3 信頼される教育環境の実現

番号	事業名、数値目標	平成22年度の進捗状況実績
52	<p>高校再編の推進</p> <p>○再編の計画策定</p> <p>H19 2地域 →H21 7地域</p> <p>【教育改革課】</p>	<p>再編計画を策定した5地域のうち再編統合に関わる4地域（鳴門市地域、吉野川市・阿波市地域、美馬市・つるぎ町地域、勝浦郡地域）については、開校準備委員会等を開催し、円滑な統合に向け、開校準備を進めるとともに、活性化計画を策定した地域（那賀町地域）については、活性化策を推進した。</p> <p>残る2地域（阿南市地域、三好市・東みよし町地域）についても、平成21年度末に地域協議会から提出された報告書を踏まえ、各地域の教育の充実・活性化に向けて、学科のあり方、教育課程の充実などについて、各学校と協議、検討を進めた。</p> <p>OH22 5地域</p>
53	<p>高校再編の推進</p> <p>○再編計画に基づく新しい学校の設置</p> <p>H24 鴨島商業高等学校・阿波農業高等学校を統合した新しい高等学校の開校</p> <p>H24 鳴門第一高等学校・鳴門工業高等学校を統合した新しい高等学校の開校</p> <p>H26 貞光工業高等学校・美馬商業高等学校を統合した新しい高等学校の開校</p> <p>【教育改革課】</p>	<p>「再編統合に係る計画」に基づき、統合する両高校及び県教育委員会の関係職員からなる開校準備委員会を開催し、開校に向けた協議・検討を行うなど、開校準備を着実に進めることができた。</p> <p>また、統合する学校間では円滑な移行を図るため、学習活動、部活動、学校行事等で学校間連携事業を実施した。</p>

基本方針3 信頼される教育環境の実現

番号	事業名、数値目標	平成22年度の進捗状況実績
⑤4	<p>私立学校の振興</p> <p>私立学校の健全な発達の支援・低所得世帯への修学支援</p> <p style="text-align: right;">【総務課】</p>	<p>私立学校の教育条件の維持・向上、修学上の経済的負担の軽減等を目的として、学校の設置者である学校法人に対する私立学校運営費補助を行うとともに、経済的理由により就学が困難な者の負担を軽減し、教育機会の均等を確保するため、高等学校等就学支援金を支給するとともに私立高等学校等授業料軽減事業補助を行った。</p>
⑤5	<p>私立学校の振興</p> <p>私立学校の特色づくり、魅力アップ、子育て支援と地域貢献促進、情報発信力強化の支援</p> <p style="text-align: right;">【総務課】</p>	<p>私立学校の生命線である「特色づくり」に対する支援として、「輝く私学推進事業」を行い、私立学校の魅力アップや、預かり保育等の子育て支援の充実に取り組む私立学校を支援した。</p>
56	<p>私立学校の振興</p> <p>公私立学校間の意思疎通の活性化、連携・機能分担の強化</p> <p style="text-align: right;">【総務課、教育改革課】</p>	<p>公私立高等学校連絡協議会等を開催し、公私立学校間での情報共有、意見交換を行う等、連携強化に努めた。また、公立高等学校の入試説明会において、私立高校の入試説明を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会 H22. 10. 14 ・第1回幹事会 H22. 5. 28 ・第2回幹事会 H22. 9. 10

基本方針3 信頼される教育環境の実現

番号	事業名、数値目標	平成22年度の進捗状況実績
57	<p>教職員の資質の向上</p> <p>初任者研修、授業力向上研修、教職5年次研修、10年経験者研修、リーダーシップ養成研修の実施</p> <p style="text-align: right;">【教職員課】</p>	<p>教職員の資質向上のため、基本研修として、初任者研修、教職3年目の者を対象とした授業力向上研修、教職5年次研修、10年経験者研修を実施するとともに、主幹教諭・指導教諭を対象として、各学校の中核となる教員を養成するリーダーシップ研修を実施した。特に初任者研修においては、実践的指導力を養成するため参加体験型の研修を多く取り入れた。</p> <p>○初任者研修受講者数 ㊟ 179名 ○授業力向上研修受講者数 ㊟ 120名 ○教職5年次研修受講者数 ㊟ 84名 ○10年経験者研修受講者数 ㊟ 80名 ○リーダーシップ養成研修受講者数 ㊟ 145名</p>
58	<p>教職員の資質の向上</p> <p>精神科医等による相談事業やメンタルヘルスマネジメントセミナー等の実施</p> <p style="text-align: right;">【福利厚生課】</p>	<p>心の病気の予防として、教職員相談事業カードを配布したり、各広報誌等を利用して、気軽にカウンセリング等ができる体制について、教職員への周知を図っている。</p> <p>また、公立学校の管理職を対象に、メンタルヘルスマネジメント支援講座を2回（104名参加）、公立学校共済組合徳島支部と共催し、管理職を対象にメンタルヘルスマネジメントセミナーを1回（260名参加）、教職員を対象にメンタルヘルスセルフマネジメントセミナーを2回（157名参加）実施した。</p>
59	<p>教職員の資質の向上</p> <p>特定健康診査・特定保健指導への積極的な対応による教職員の健康の保持増進</p> <p style="text-align: right;">【福利厚生課】</p>	<p>労働安全衛生法及び学校保健安全法の定める定期健康診断については、受診義務があるため、全教職員に受診することの徹底を、各学校に要請依頼しているところである。</p> <p>40歳以上の特定健康診査においては、定期健康診断のデータを特定健康診査・特定保健指導として活用し、推進や協力要請依頼をしている。</p> <p>特定健康診査については定期健康診断のデータを活用し、各所属において、事業の周知と協力を要請依頼し、活用の促進と周知を図ることができている。</p>

基本方針3 信頼される教育環境の実現

番号	事業名、数値目標	平成22年度の進捗状況実績
60	<p>安全・安心な学校づくり</p> <p>○県立高等学校施設耐震化率</p> <p>H19 42% →H22 75% (H27 100%)</p> <p>【施設整備課】</p>	<p>災害に強い安全な学校施設の整備，教育ニーズに対応した良好な教育環境を提供するため，「県立学校耐震化計画」に基づき，県立学校施設の耐震化を計画的に推進した。</p> <p>県立学校耐震診断等実施率（優先度調査含む）は平成18年度までで100%となっており，平成22年度末までに耐震改修実施校数（累計）は14校，改築実施校数は9校となった。</p> <p>○県立高等学校施設耐震化率 H22 73%</p>
61	<p>安全・安心な学校づくり</p> <p>○小・中学校施設耐震化率</p> <p>H19 41% →H22 75%</p> <p>【施設整備課】</p>	<p>平成20年度に「公立小中学校施設耐震化緊急支援制度」を創設し，市町村の財政負担の軽減を図っている。また，耐震化工事における技術的な支援をする「市町村公共施設耐震化促進支援センター」との連携を図り耐震化の推進に努めている。</p> <p>平成22年度での耐震化事業完了棟数は約120棟あり，ほぼ順調に事業が行われている。</p> <p>○公立小中学校施設耐震化率 H22 77%</p>
62	<p>学校安全ボランティア (スクールガード) 活動の充実</p> <p>○スクールガードリーダー委嘱人数</p> <p>H19 24人 →H22 44人</p> <p>【体育健康課】</p>	<p>学校安全ボランティア（スクールガード）の養成に努め，県内全小学校区で約1万人のスクールガードによる登下校時の見守り活動を実施した。地域ぐるみの見守り体制の充実により，不審者情報は減少しており効果が出ている。</p> <p>平成21年度より，国の制度が変更され，スクールガードリーダーの委嘱主体が各市町村になった。県として，増員に向けた働きかけを行うとともに，連絡協議会を開催し県内情報の共有や市町村間の連携強化に向けた支援を行った。</p> <p>○H22 24人</p>

基本方針3 信頼される教育環境の実現

番号	事業名、数値目標	平成22年度の進捗状況実績
63	<p>防災教育の充実</p> <p>○防災教育推進モデル校数</p> <p>H19 18校 →H21 24校</p> <p>【体育健康課】</p>	<p>防災教育推進モデル校の成果を県下を広げるため「学校防災研修会」を開催して取組みを紹介するとともに指導の手引き書となる「防災教育プログラム集」を作成した。</p> <p>○H22 24校</p>
64	<p>防災教育の充実</p> <p>学校と地域の自主防災組織等の連携を図る「あわ防災推進事業」の実施</p> <p>【体育健康課】</p>	<p>学校と地域が連携した防災教育の必要性を啓発するとともに、各校で実施する際の手引き書となる「防災教育プログラム集」を作成した。</p>
65	<p>防災教育の充実</p> <p>○学校における防災教育の充実</p> <p>H24 すべての小・中・高・特別支援学校で推進</p> <p>【体育健康課】</p>	<p>県内すべての小・中・高・特別支援学校で、各教科・道徳・特別支援活動等を中心に教育活動全体を通じて計画的に防災教育を推進した。総合的な学習の時間に「防災」をテーマにした取組みも行われるようになり、取組みの成果が、防災に関する各種のコンクールで入賞（津田中学校「ぼうさい甲子園」するなど、本県の防災教育が高い評価を受け、防災教育の充実が図られている。</p>

基本方針3 信頼される教育環境の実現

番号	事業名、数値目標	平成22年度の進捗状況実績																								
66	<p>教育の組織運営体制等の充実</p> <p>○副校長等の新たな職の設置</p> <p>H20 設置</p> <p>【教職員課】</p>	<p>学校の抱える課題が多様化・複雑化している状況や、学校運営や外部対応に関わる業務の増大等を踏まえ、学校における組織運営体制や指導体制の改善・充実を図ることを目的とした副校長等の新たな職を設置することにより、学校の課題に迅速・的確に対応する体制を整備するとともに、校内における職場内研修を充実することにより、個々の教員の資質向上を図った。</p> <table border="0" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>副校長</th> <th>主幹教諭</th> <th>指導教諭</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○小学校</td> <td>②</td> <td>5名</td> <td>22名</td> <td>45名</td> <td>を配置</td> </tr> <tr> <td>○中学校</td> <td>②</td> <td>7名</td> <td>14名</td> <td>22名</td> <td>を配置</td> </tr> <tr> <td>○県立学校</td> <td>②</td> <td>9名</td> <td>8名</td> <td>36名</td> <td>を配置</td> </tr> </tbody> </table>			副校長	主幹教諭	指導教諭		○小学校	②	5名	22名	45名	を配置	○中学校	②	7名	14名	22名	を配置	○県立学校	②	9名	8名	36名	を配置
		副校長	主幹教諭	指導教諭																						
○小学校	②	5名	22名	45名	を配置																					
○中学校	②	7名	14名	22名	を配置																					
○県立学校	②	9名	8名	36名	を配置																					

基本方針4 人権尊重社会をめざす教育の実現

番号	事業名、数値目標	平成22年度の進捗状況実績
67	<p>「“あわ”人権学習ハンドブック」の活用促進</p> <p>「“あわ”人権学習ハンドブック」の活用促進と指導内容・指導方法の改善・充実</p> <p>【人権教育課】</p>	<p>学校教育においては、あらゆる機会を捉えて、「“あわ”人権学習ハンドブック」の活用促進を図り、本年度は特に体験を通じた学びを重視する人権教育を推進し、態度化・行動化につながる人権教育の具体実践を進め、指導内容・指導方法の改善・充実に努めた。</p> <p>また、社会教育においては、「社会教育における人権教育指導者研修会」において、「“あわ”人権学習ハンドブック」の内容や活用方法についての研修を行い、指導内容・指導方法の改善・充実に努め、人権意識の高揚と態度化・行動化にむすびつく取組につなげた。</p>
68	<p>人権教育研究校の指定</p> <p>○人権教育研究指定校</p> <p>県指定 幼、高・特別支援学校 毎年度各2校</p> <p>文部科学省指定 小、中学校 毎年度各2校</p> <p>【人権教育課】</p>	<p>人権教育研究指定校を指定し、発達段階に応じ、「“あわ”人権学習ハンドブック」や平成20年3月に文部科学省が公表した「人権教育の指導方法等の在り方について [第三次とりまとめ]」を活用した人権教育の指導内容や指導方法等の実践的な研究を深め、発表会等をとおして研究成果の普及に努めた。昨年度から、ホームページ上に研究指定校の研究内容や人権学習の指導事例等を掲載することにより、広く県内各校での実践に活用できるようにし、学校教育における人権教育の充実に努めた。</p> <p>○県指定 飯尾敷地幼稚園、喜来幼稚園（松茂町） 板野支援学校、徳島商業高等学校</p> <p>○文部科学省指定 飯尾敷地小学校、松茂小学校 城ノ内中学校、鴨島第一中学校</p> <p>H22 研究発表校 飯尾敷地幼稚園、板野支援学校、飯尾敷地小学校、城ノ内中学校</p>
69	<p>児童生徒の自主的な活動の推進</p> <p>○ふれあい人権劇発表会への応募作品数</p> <p>H19 - →H24 100（累計）</p> <p>【人権教育課】</p>	<p>人権意識の高揚を図り、態度化・行動化を図るため、各学校等で制作・上演されている「人権劇」、「人権映像」を募集し、優れた作品について表彰式・発表会を行うとともに、作品を教材化し、人権教育・啓発に活用した。本年度は、「人権劇」部門において、各学校からの応募に加え、一般の団体からの応募があるとともに、表彰式・発表会の参加者数も増加し、取組に広がりが見られた。</p> <p>○H22 63作品（累計）</p>

基本方針4 人権尊重社会をめざす教育の実現

番号	事業名、数値目標	平成22年度の進捗状況実績
70	<p>児童生徒の自主的な活動の推進</p> <p>○「心にひびく とっておきのエピソード」への応募作品数</p> <p>H20 — →H23 4,000 (累計)</p> <p>【人権教育課】</p>	<p>人権尊重社会の実現に向けた取組として、平成21年度より、家庭や学校、職場や地域などで自分自身が見たり体験したりした、人権問題解決に向けた思いや自分や他の人を大切にすることが具体的な態度や行動に現れたエピソードを作品として募集する事業を始めた。各種研修会等様々な機会を捉えて周知に努めた結果、日常生活における人との出会いや出来事の中で、人権尊重の精神が態度や行動に現れた心あたたまるエピソードが数多く応募された。その優れた作品をパネル等の資料にして、県内の様々な地域で行われる人権教育・啓発展等で活用した。</p> <p>OH22 4,108作品 (累計)</p>
71	<p>児童生徒の自主的な活動の推進</p> <p>○中・高生による人権交流集会への参加者数</p> <p>H19 500人 →H24 3,000人 (累計)</p> <p>【人権教育課】</p>	<p>県内の中学校、高等学校、特別支援学校等の生徒が交流し、先進地研修等人権についての自主的な活動を実施するとともに、人権交流集会に向け、生徒からポスターとキャッチフレーズを募集するなど、自主的な活動を推進した。本年度は「心と心を通わせよう～集まれ、みんなの思い～」のテーマのもとに「中・高生による人権交流集会」を開催し、人権について語り合い、交流することをおして、人権についての理解を深め、人権問題の解決に取り組む生徒の育成を図った。</p> <p>OH22 2,050人 (累計)</p>
72	<p>生涯にわたる学習機会の充実</p> <p>○生涯にわたる人権教育の学習機会の充実</p> <p>【人権教育課】</p>	<p>生涯にわたる人権に関する学習機会の充実をめざし、本年度、5市1町16学級の識字学級が活動し、相互交流や学校・社会教育団体等との交流活動を実施することにより、学校・家庭・地域が一体となった人権教育を推進した。</p>

基本方針4 人権尊重社会をめざす教育の実現

番号	事業名、数値目標	平成22年度の進捗状況実績
73	<p>生涯にわたる学習機会の充実</p> <p>○大学生の人権サークルと子どもたちとの交流を図る「あったかハートつながり隊・ひろがり隊」の派遣回数 H21 ー →H24 36回（累計）</p> <p style="text-align: right;">【人権教育課】</p>	<p>大学サークル等青年の相互交流や研修会、青年と子どもたちとの交流を促進した。本年度は、大学との緊密な連携を図り、早い時期の事業立ち上げに取り組んだ結果、4大学8サークルが6月からの交流活動を開始し、県内からの幅広い要請に応じることができた。</p> <p style="text-align: center;">○H22 大学生の派遣回数 17回</p>
74	<p>指導者の養成と資質の向上</p> <p>○人権教育指導員の派遣回数 H19 300回 →H24 1,800回（累計） 年間300回</p> <p style="text-align: right;">【人権教育課】</p>	<p>50名の徳島県人権教育指導員を選任し、各学校及び市町村教育委員会等が主催する研修会等において、個別人権課題や普遍的な視点についての指導助言を行うことにより、人権意識の高揚を図り、徳島県人権教育推進方針に基づく人権教育を推進した。本年度は5名の指導員の入れ替えを行い、より一層、様々な人権問題や今日的な課題に対応できるようにするとともに、幅広い研修の要望にも応じられる体制を整えた。</p> <p style="text-align: center;">○人権教育指導員の派遣回数 H22 1,349回（累計）</p>
75	<p>指導者の養成と資質の向上</p> <p>○社会教育における人権教育推進者の養成数 H19 40人 →H24 220人（累計）</p> <p style="text-align: right;">【人権教育課】</p>	<p>社会教育における人権教育を推進するため、3日間の継続研修を実施し、本県人権教育の推進方向や今日的な課題についての研修、市町村での取組についての情報提供を行うとともに、体験的参加型研修による研修を行い、人権教育推進者の養成と資質の向上を図った。特に本年度は、人権教育・啓発の魅力ある企画づくりを研修内容とし、市町村で活用できる具体的な企画・運営方法やファシリテーターとしての力量を高める研修を行った。</p> <p style="text-align: center;">○社会教育における人権教育推進者養成数 H22 228人（累計）</p>

基本方針5 みんなが学べる生涯学習社会の実現

番号	事業名、数値目標	平成22年度の進捗状況実績
76	<p>「徳島県立総合高等学校」の学習支援機能の充実</p> <p>○生涯学習情報システムへのアクセス件数</p> <p>H19 約50万件 →H24 約80万件</p> <p>【生涯学習政策課】</p>	<p>県と市町村、及び県内生涯学習関連施設等が連携し、適切に収集した生涯学習情報を講座・イベント情報、団体・サークル情報、施設情報、人材・指導者情報、まなびーあ徳島講座情報、視聴覚教材情報、マナビィセンター図書情報、こども講座・イベントの8つのデータベースとして集積し、インターネットを利用して県民に良質な生涯学習情報を提供した。</p> <p>○生涯学習情報システムへのアクセス件数 H21 582,597件（平成21年度まで）</p> <p>※「生涯学習情報システム」の平成21年度末のシステムリニューアルに伴い、平成22年以降は当該アクセス件数に対応した実績件数は収集不可となった。</p>
77	<p>人材の育成と有効活用</p> <p>地域における生涯学習のリーダーの育成、地域に貢献できる人材の有効活用</p> <p>【生涯学習政策課】</p>	<p>地域における生涯学習のリーダーの育成のために「女性のためのスキルアップ講座」、「すくすく子育てコーチング講座」、「父親カルネサンス推進講座」、「子どもと放課後ののしみ隊講座」を開催した。</p> <p>人材の有効活用のために、総合教育センター生涯学習課で開催した講座の受講者の中から、希望者を「徳島県生涯学習情報システム（まなびひろば）」の人材・指導者情報に登録することにより、県民の誰もが講師依頼をすることができるようにした。</p>
78	<p>文化の森総合公園文化施設の機能充実</p> <p>○文化の森各文化施設入館者総数（累計）</p> <p>H19 1,390万人 →H24 1,800万人</p> <p>【文化の森振興総局】</p>	<p>常に新鮮で、より多くの県民に親しまれる魅力ある事業を実施するなど文化の森総合公園文化施設の機能充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博物館 企画展 3回 特別陳列 1回 普及行事 85回 を開催予定 ・近代美術館 特別展 3回 普及行事 43回 を開催予定 <p>平成22年に文化の森総合公園は開園20周年を迎え、「文化の森開園20周年記念事業”2010年、みんなと歩む新たな一歩”」をメインテーマとし、年間を通じ、切れ目なくイベントを実施した。</p> <p>○H22 1,626万人（累計）</p>
79	<p>とくしまネットワーク図書館の構築</p> <p>○とくしまネットワーク図書館</p> <p>H22 構築</p> <p>【文化の森振興総局】</p>	<p>平成19年度から整備・推進していた、県民が「いつでも・どこでも」必要な図書サービスを受けることができる県立図書館を核とした県下図書館の連携による「とくしまネットワーク図書館」システムを構築し、平成22年10月1日に運用を開始した。</p>

基本方針5 みんなが学べる生涯学習社会の実現

番号	事業名、数値目標	平成22年度の進捗状況実績
80	<p>図書館機能の活用</p> <p>○図書館企画事業数（累計）</p> <p>H20 50回 →H24 250回</p> <p>【文化の森振興総局】</p>	<p>放送大学と連携して毎月1回土曜日に「まなびの森」講演会の開催、平成23年1月には大阪府立中央図書館との交流企画展を実施した。</p> <p>また、おはなし会や企画展示など、図書館の情報発信力を高め、図書館の多角的な機能の活用を進めた。</p> <p>OH22 190回（累計）</p>
81	<p>博物館と学校との連携</p> <p>○学校の授業への講師派遣回数（累計）</p> <p>H20 27回 →H24 109回</p> <p>【文化の森振興総局】</p>	<p>子どもたちが郷土の自然や歴史・文化に対して理解を深めることができるよう、学校での授業（教室外での観察会等を含む）に博物館学芸員を講師として派遣した。</p> <p>学校での授業では、学芸員はティーム・ティーチングの手法により教員と協同し、持参した博物館資料を活用するなどして児童・生徒の理解を助けるよう支援した。</p> <p>OH22 90回（累計）</p>
82	<p>県立鳥居記念博物館の移転・整備</p> <p>○県立鳥居龍蔵記念博物館</p> <p>H22 開館</p> <p>【文化の森振興総局】</p>	<p>鳥居龍蔵博士の功績を広く紹介するため、平成19年度から検討・開設準備を進めていた徳島県立鳥居龍蔵記念博物館が、平成22年11月3日に文化の森総合公園内に開館した。</p>

基本方針6 豊かなスポーツライフと人・地域が輝く「あわ文化」の実現

番号	事業名、数値目標	平成22年度の進捗状況実績
83	<p>生涯スポーツの推進</p> <p>○「徳島県スポーツ振興基本計画」の見直し</p> <p>H22 見直し</p> <p>【県民スポーツ課】</p>	<p>「徳島県スポーツ振興基本計画」の基礎となる文部科学省の「スポーツ振興基本計画」の見直し状況の情報収集に努めた。</p> <p>また、「徳島県スポーツ振興審議会」を10月と2月に開催し、新しい計画の策定に向けて、計画の柱・項目を整理し、計画づくりの作業に着手した。</p>
84	<p>生涯スポーツの推進</p> <p>「とくしまスポーツ憲章」を制定し、スポーツに親しむ気運を醸成し、とくしまスポーツ王国づくりの実現を目指す</p> <p>【県民スポーツ課】</p>	<p>「とくしまスポーツ憲章」に則り、スポーツの普及・振興に資する各種事業を推進した。</p>
85	<p>生涯スポーツの推進</p> <p>○総合型地域スポーツクラブの設立数</p> <p>H19 21クラブ →H22 26クラブ</p> <p>【県民スポーツ課】</p>	<p>総合型地域スポーツクラブ設立準備中の4クラブの内、平成22年度末に1クラブが設立され、21市町村において29クラブが設立した。</p> <p>未設置の2町（上勝町・牟岐町）に対して、「総合型地域スポーツクラブ」の地域づくりや健康づくりに資する有用性を説明し、住民に対しての啓発セミナーを開催した。</p> <p>OH22 29クラブ</p>

基本方針6 豊かなスポーツライフと人・地域が輝く「あわ文化」の実現

番号	事業名、数値目標	平成22年度の進捗状況実績
⑧6	<p>生涯スポーツの推進</p> <p>○健康づくり実践プログラムの作成・推進</p> <p>H21 作成</p> <p>【県民スポーツ課】</p>	<p>「みんなでつくろう！健康とくしま県民会議（運動と健康づくり専門部会）」において、昨年実施したプログラムの検証や一部修正を行い、更なる効果的なプログラムを作成するため、引き続き総合型地域スポーツクラブで実践した。</p> <p>プログラムの実施にあたっては運動実践に限らず、医師、保健師、栄養士等保健医療分野の専門職と連携し、地域が一体となって住民の健康づくりを目指す。</p> <p>・構成 講義・運動実習・話し合い・計測で構成したプログラム ・実施期間 平成22年10月～平成23年2月までの5ヶ月間（全20回）</p>
⑧7	<p>生涯スポーツの推進</p> <p>○「とくしまスポーツSHOWデー」実行委員会によるイベント等助成数</p> <p>H19 10件 →H22 60件（累計）</p> <p>【県民スポーツ課】</p>	<p>県民の誰もが参加できるスポーツイベントを開催する団体を支援する「とくしまスポーツSHOWデー助成事業」を21件、助成した。</p> <p>○H22 70件（累計）</p>
⑧8	<p>競技力向上対策の推進</p> <p>○国民体育大会天皇杯順位</p> <p>H19 47位 →H22 30位台</p> <p>【県民スポーツ課】</p>	<p>平成21年度から「徳島育ち競技力向上プロジェクト」（中長期的にジュニア選手の競技力の向上を図るため、県、県教委、県体育協会による推進班を置き、競技団体との連携を密に図り、発達段階に応じた「一貫指導システムの構築」と「トップ指導者の養成」を目指す）を開始しており、県体育協会や県教委との連携を強化し、優れた素質を持つジュニア選手の発掘からトップアスリートまで切れ目のない強化体制を構築するため、「競技者育成プログラム」の普及及び一貫指導を実施する体制の整備を着実に図っている。本年度は、22の競技団体が「育成プログラム」を作成・実践した。</p> <p>さらに、国体選手の競技力向上のため、成果指向型の選手強化に努めるとともに、医科学面からのサポート体制を充実させることにより、基盤強化を図った。</p> <p>○H22 44位</p>

基本方針6 豊かなスポーツライフと人・地域が輝く「あわ文化」の実現

番号	事業名、数値目標	平成22年度の進捗状況実績
89	<p>競技力向上対策の推進</p> <p>○中学校と高等学校の連携による 競技力向上連携ゾーン数</p> <p>H19 1 →H22 16</p> <p>【県民スポーツ課、体育健康課】</p>	<p>平成22年度は新たに2校3部で連携ゾーンづくりプロジェクトを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・那賀高校カヌー部・鳴門工業高校登山部/ウエイトリフティング部 ※徳島科学技術高校ソフトボール部：高校総体準優勝（平成22年8月） <p>また、指定校と中学校との関係を一層緊密にするため、指定校を核とした近隣中学校との連携ゾーンを作りジュニア層からの競技力の基盤強化を推進する。</p> <p>OH22 16ゾーン</p>
90	<p>競技力向上対策の推進</p> <p>○徳島県スポーツ賞の推進</p> <p>H20 創設</p> <p>【県民スポーツ課】</p>	<p>平成20年度に「徳島県スポーツ賞」を創設した。毎年3月に「表彰式」を実施することとし、ポカリスエットスタジアム正面玄関内に「グランプリボード」を設置し、グランプリ賞受賞者の功績を称えることとしている。今年度は、平成23年3月6日に徳島ヴォルティス開幕ゲーム前に表彰式を行った。</p> <p>「徳島県スポーツ賞」</p> <p>(1) 趣旨 全国大会や国際大会で優秀な成績を挙げ、本県競技スポーツの発展に貢献された①競技者とその指導者 ②スポーツ団体及び企業等の功績等を称えとともに、これを通して本県スポーツの一層の普及・振興を図る。</p> <p>(2) 内容 ①グランプリ賞（競技者と指導者） ジュニア、ユース、シニア、マスターズ、障害者スポーツの各分野から選考 ②奨励賞（スポーツ活動に関わる団体、企業） ③ドリーム賞（競技者）</p>
91	<p>文化財の保護・保存と活用</p> <p>○文化財マイスター修了生数</p> <p>H19 18人 →H21 60人（累計）</p> <p>【教育文化政策課】</p>	<p>文化財マイスター養成事業は平成21年度で終了し、修了生は72名と当初の目標である60名を大きく上回った。事業の実施により、県内の国・県指定文化財建造物の平面図の作成や、重要文化財の所有者耐震診断を実施することができた。</p> <p>22年度は、文化財マイスター修了生が「とくしま文化財マイスター連絡協議会」を設立した。県は同協議会へ、近代和風建築総合調査の基礎調査の実施・四国八十八箇所霊場第21番札所太龍寺の建造物調査の実施・国登録有形文化財の資料作成等を依頼し、文化財の保護・保存と活用を推進することができた。</p> <p>OH22 72人</p>

基本方針6 豊かなスポーツライフと人・地域が輝く「あわ文化」の実現

番号	事業名、数値目標	平成22年度の進捗状況実績
92	<p>文化財の保護・保存と活用</p> <p>○「発見！ふるさとの伝統文化」受講者数</p> <p>H20 — →H22 200人（累計）</p> <p>【教育文化政策課】</p>	<p>阿波人形浄瑠璃や神踊りなどの踊り芸能を対象とした「発見！あわの芸能」、阿波の太布紡織習俗など県南部の民俗文化財を対象とした「発見！山里の伝統文化」、及び二上り音頭とまわり踊りなど県央部の民俗文化財を対象とした「発見！まちの伝統文化」の3つのコースを設定し、のべ21日間にわたって保存団体と協働で講演会、体験教室、現地講座などを実施した。</p> <p>これまで取り上げられる機会が少なかった民俗文化財についての周知・活用が進んだことにより、民俗文化財に関心を持つ人のすそ野を広げることができた。また、保存団体にとっても、他地域からの多くの受講生が現地を訪れることや、他の保存団体との交流により、保存・継承活動の活性化につながった。</p> <p>○H22 330人（累計）</p>
93	<p>文化財の保護・保存と活用</p> <p>各地域の保存団体が実施する体験教室など地域の子どもたちを対象とする伝統芸能への取組を支援し、伝統芸能の継承を推進</p> <p>【教育文化政策課】</p>	<p>各地域の保存団体等による子どもを対象とした伝統文化の体験活動を支援する目的で、「こども伝統文化体験活動支援事業」を実施し、必要な用具等の整備に対する支援を行った。</p> <p>また、各地域の保存団体等による「ふるさと文化再興事業」「伝統文化こども教室事業」「地域伝統文化総合活性化事業」などの国の事業を活用した支援を行った。</p> <p>これらの取り組みにより、県内各地で子どもたちを対象とする伝統芸能等の体験活動が行われ、伝統芸能の活性化と保存・継承につなげることができた。</p>
94	<p>文化財の保護・保存と活用</p> <p>○国指定文化財(史跡含む)の指定選定数</p> <p>H19 9地区(うち史跡7地区) →H24 13地区(うち史跡10地区)</p> <p>【教育文化政策課】</p>	<p>歴史的景観を保全し、地域の活性化を図るため、「阿波遍路道」(鶴林寺道・太龍寺道・いわや道)の国史跡指定に向けての調整を行い、指定が実現した。</p> <p>一方、鳴門市が、鳴門・板野古墳群、板東俘虜収容所跡の国指定を目指しており、県教育委員会としても、国との調整など、支援を続けた。</p> <p>○H22 12地区(うち史跡9地区)</p>

基本方針6 豊かなスポーツライフと人・地域が輝く「あわ文化」の実現

番号	事業名、数値目標	平成22年度の進捗状況実績
95	<p>文化財の保護・保存と活用</p> <p>○勝瑞城館跡整備面積</p> <p>H19 0㎡ →H24 約20,000㎡</p> <p>【教育文化政策課】</p>	<p>国史跡「勝瑞城館跡」のうち、平成13年に指定された会所跡・枯山水庭園を中心とする区域の史跡整備について、年次計画に基づいて整備を進めている。</p> <p>平成22年度は、基盤整備（造成工）を終えた約10,000㎡の範囲に、枯山水庭園の植栽及び修景工事、濠跡の整備工事、排水工事を行った。</p> <p>○勝瑞城館跡整備面積 H22 5,150 ㎡</p>
96	<p>「いにしえ夢街道」の構築</p> <p>○文化財ボランティア養成人数 (累計)</p> <p>H19 63人 →H22 200人</p> <p>【教育文化政策課】</p>	<p>文化財ボランティア養成のための講義や現地研修など、年間4回の講座を実施した。</p> <p>講座では、ボランティアの質を確保するため、修了要件として、第4回の実地研修を含む3回以上の受講を課している。このため、平成22年度の受講生は57人であったが、修了生は18人となった。</p> <p>○H22 125 人</p>
97	<p>「いにしえ夢街道」の構築</p> <p>○アワコウコ楽マイスター参加者数 (累計)</p> <p>H19 82人 →H22 160人</p> <p>【教育文化政策課】</p>	<p>埋蔵文化財に関する体験講座を、児童生徒を対象として実施した。</p> <p>平成22年度は、発掘調査現場での体験に60人（保護者含む）、土器づくり講座に40人（保護者含む）と、定員いっぱいの参加があった。</p> <p>○H22 221 人</p>

基本方針6 豊かなスポーツライフと人・地域が輝く「あわ文化」の実現

番号	事業名、数値目標	平成22年度の進捗状況実績
98	<p>学校への芸術家等派遣の推進</p> <p>○学校への芸術家等派遣回数(累計)</p> <p>H19 132回 →H24 400回</p> <p>【教育文化政策課】</p>	<p>学校において、美術や音楽などの優れた芸術舞台や作品に触れる機会を充実するとともに、自主的に芸術文化活動に取り組むことができる環境を整えるため、文化庁の「子どものための優れた舞台芸術体験事業－巡回公演事業・派遣事業－」、文部科学省の「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験」や日本児童演劇協会による「児童劇巡回公演」等を活用し、小・中・高校・特別支援諸学校に、芸術団体や芸術家を派遣した。</p> <p>○H22 派遣回数 357回(累計)</p>
99	<p>高等学校総合文化祭の開催・参加</p> <p>近畿高等学校総合文化祭への参加</p> <p>【教育文化政策課】</p>	<p>平成22年11月6日(土)～21日(日)までの間、奈良県で、第30回近畿高等学校総合文化祭が開催された。</p> <p>総合開会式をはじめ、演劇、吹奏楽、器楽・管弦楽、マーチングバンド・バトントワリング、日本音楽、郷土芸能、美術・工芸、書道、写真、放送文化、囲碁、将棋、小倉百人一首かるた、14部門に生徒を派遣した。日頃の芸術文化活動の成果を発表するとともに、交流を深め、大きな成果を収めることができた。</p>